

新入生の皆さん

外国語学部ポルトガル語学科へようこそ。今年もこうして皆さんを迎えることができ、心よりうれしく思います。

大学生になってひとまずほっとしていることと思います。でも少し気持ちを切り替えて、今日からはいよいよ始まる大学生活にある程度の覚悟をもって臨んでほしいと思います。皆さんが学ぶ外国語学部は当該地域や国の言語を身につけ、それとともにその言語が使われている国や地域の歴史や文化、社会などを学ぶところです。言語と地域研究のエキスパートを目指して下さい。

言わずもがな、ですが、ポルトガル語学科の学生である皆さんはポルトガル語とポルトガル語圏について学ぶことになります。それは決して簡単ではありません。初めて学ぶ言語、覚えることも多いです。「ローマは一日にして成らず」。コツコツ勉強することが大事です。テスト前の一夜漬けはだめですよ。毎日少しずつ単語や動詞の活用を憶えてください。私たち教員も一生懸命サポートしますので。

今はAIの時代。機械翻訳もかなり精度が上がっています。それでもなお母国語以外の言葉を学ぶのはなぜか、なぜ学びたいと思うのか。私は、言語が異なる人びとがともに生きていく上で、話すこと、もつといえ対話することが大事と思うからだと考えています。機械翻訳に頼ることもあるでしょう。でもいつもスマホやパソコンの画面をみながら人と人が話す姿はやはり不自然ですね。自分が今この瞬間に思っている気持ちや考えを自分なりの言葉で話し、それが相手に伝わった時の満足感、それが人間には必要なのだと思います。苦労はするかもしれないけれども、そのことで相手との距離が縮まり、共感する気持ちも生まれるように思います。でもそのためにはその言語に関する知識と話す内容に関する知識の両方が必要です。だから言語と地域研究なのです。皆さんがこれから学科でポルトガル語を学ぶ意味はここにあると私は思います。ポルトガル語との出会いをどうか大切に。きっと皆さんの世界は広がると思います。

もうひとつ新入生の皆さんへのメッセージがあります。ぜひ世界の出来事に目を向けてください。日本にも関心を持ってください。世界の中で日本はどんな位置にあるのか、また日本は世界をどうみているのか。いろいろなことにアンテナをはって、これからの4年間を過ごして下さい。

在校生の皆さん

よい新学期を迎えたことと思います。2年次生は、語学カリキュラムの中で最も内容が複雑で予習・復習が必要な年を迎えます。様々な授業を通して学んだ基礎を向上させることを目指してください。そしてどのような研究コースを選出するかについてもしっかり考えてください。

3年次生は、学習してきたことを応用する年を迎えます。「総合ポルトガル語」という6科目を選択し、ポルトガル語で様々な資料を読み解き、コミュニケーション力を向上させることを目指してください。そのために積極的に授業に参加することは不可欠です。また、自分が選んだ研究コース科目の履修が進み演習（ゼミ）も始まります。自分が興味をもつ分野を楽しく勉強しましょう。

4年次生は、就職活動を頑張ることになるでしょう。しかし「総合ポルトガル語」の2科目の履修がまだありますから、ポルトガル語をさらに磨くことを心がけてください。ちなみに内定が決まり次第、学部・学科への報告も忘れずに。

この1年間が皆さんにとって実り多い時間となりますように。教員一同、心から願っています。